

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2011年6月12日現在

概況 オレゴン州の2011年6月12日に終わる1週間の気象は、週の始まりは温暖な気象であったが、半ばより低温・降雨の気象となった。各地の降水量は少なかった。Willamette Valleyの最高気温は73度F、最低気温は42~49度Fであり、平均気温は平年を2~4度F下回った。1週間の降水量は0.01~0.32インチであった。NC地区の最高気温はThe Dallesにて80度Fを記録したが、他の観測所では73~78度Fであった。平均気温はThe Dallesは平年を5度F上回ったが、他の観測所では平年を2~5度F下回った。1週間の降水量は0.03~0.63インチであった。1週間の州平均農作業稼働日数は5.5日(前週:3.8日)であった。Topsoil及びSubsoilの土壌水分は、前週より“Surplus”が減少し“Adequate”が増えた。Willamette Valleyの冬小麦は、週初めの温暖な気温で出穂が進んだ。Marion郡の冬小麦ではStrip rust(黄さび病)が広がっていた。冬小麦は全州の78%にて出穂した。冬小麦の生育は昨年より1週間、5年平均より2週間遅れていた。冬小麦の作柄は前週より改善し、昨年より良好な評価であった。春小麦は全州の圃場の100%にて出芽した。春小麦の作柄は79%が“Good”以上と報告された。

USDAの6月1日付け2011年産冬小麦の生産量予想では、オレゴン州産冬小麦の単収は5月1日予想より2.0 bu/acre増え71.0 bu/acre(昨年実績:67.0 bu/acre)であった。良好な土壌水分で小麦の生育が平年以上に良く、Rustの被害による減収は現時点では無いと言える。収穫面積予想は昨年と同じであった。単収は昨年より4.0 bu/acre多い予想であり、生産量予想は昨年より6%増の57,510,000 bushels(約156.5万トン)であった。

2011年6月12日現在：土壌水分(*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	0	4	81	15
	Last week	0	1	73	26
Subsoil	This week	0	2	80	18
	Last week	0	2	76	22

2011年6月12日現在：冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Headed	78	50	80	90

2011年6月12日現在：冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	1	4	16	55	24
Last week	1	2	24	49	24
Last year	1	6	21	57	15

2011年6月12日現在：春小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Emerged	100	96	100	100

*) Source: National Agricultural Statistic Service, USDA-Oregon Field Office. 5-yr average means average of 2006,2007,2008,2009 and 2010 crop years

2011年6月1日付け USDA 生産量予想

State	Area Harvested 1000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1000 bushels	
	2010	2011	2010	2009		2010	2011
				May 1	June 1		
Oregon	810	810	67.0	69.0	71.0	54,270	57,510
USA	31,749	37,039	46.8	44.5	45.3	1,485,236	1,450,115

以上